

エリアプラットフォームの設立に向けて



みんなで創る
王子の未来

令和5年8月
東京都北区

エリアプラットフォームの設立に向けて

王子駅周辺まちづくりに関するエリアプラットフォームの設立を目指します

設立の背景

- 王子駅周辺まちづくりガイドラインにおいて、**王子共創会議**と**エリアプラットフォーム**による「共創体制」でまちづくりを推進することとした

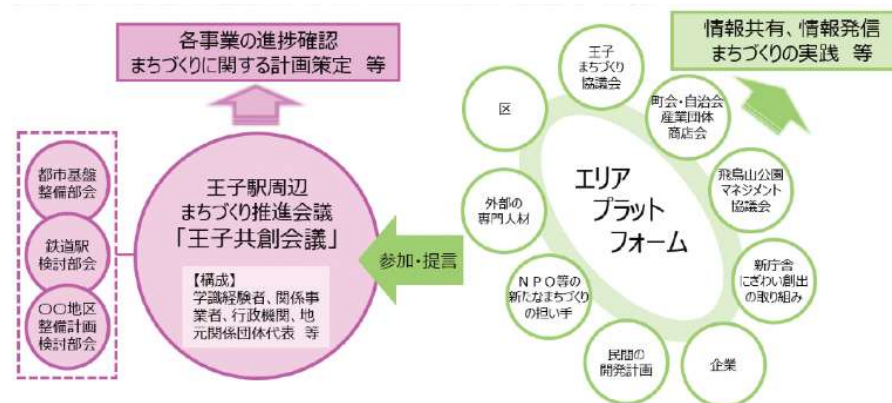
王子共創会議

各事業の進捗を確認しながら、ガイドラインの改定やまちづくりに関する計画の策定等について協議し、まちづくりの実現に向けて合意形成を図る

エリアプラットフォーム

ゆるやかに連携し情報共有しながら、まちづくりの機運を醸成し、情報発信、まちづくりの実践等を行い、エリアマネジメントの実現へとつなげる

▼ガイドライン策定後の推進体制のイメージ



～エリアプラットフォームとは～

行政をはじめ、まちづくりの担い手であるまちづくり会社・団体、まちづくりや地域課題解決に関心がある企業、自治会・町内会、商店街・商工会議所、住民、地権者・就業者などが集まって、まちの将来像を議論・描き、その実現に向けた取組（＝まちづくり）について協議・調整を行うための場がエリアプラットフォームです

国土交通省パンフレット「まちづくりの可能性を広げるエリアプラットフォーム」より

「エリアプラットフォーム」とは、おおむね以下の要件が揃った協議の場です



エリアに関わる様々な仲間と集まり協議をする



まちづくりに関する実現を有する専門人材からの支援を受けている



エリア価値の向上・将来像の実現が目的



緩やかな協議の場（プラットフォーム）

エリアプラットフォームの設立に向けて

地域の課題解決や魅力（価値）向上を目的として、
様々なまちづくりの活動で連携していきます

エリアプラットフォームで連携する活動内容（想定）

- 王子駅周辺のエリアビジョンの検討（ウォークブル・ガーデンのイメージ深化等）
- 道路、公園、河川等の利活用、放置自転車対策等に関する社会実験等の取り組み
- ポータルサイト、SNS、アプリ、3D都市データ等による情報共有、情報発信



エリアビジョンの検討
(出典：ササハタハツウェブサイト)



道路空間活用の社会実験（丸の内仲通り）



情報共有、情報発信ツール



河川や公共施設の利活用（音無親水公園）



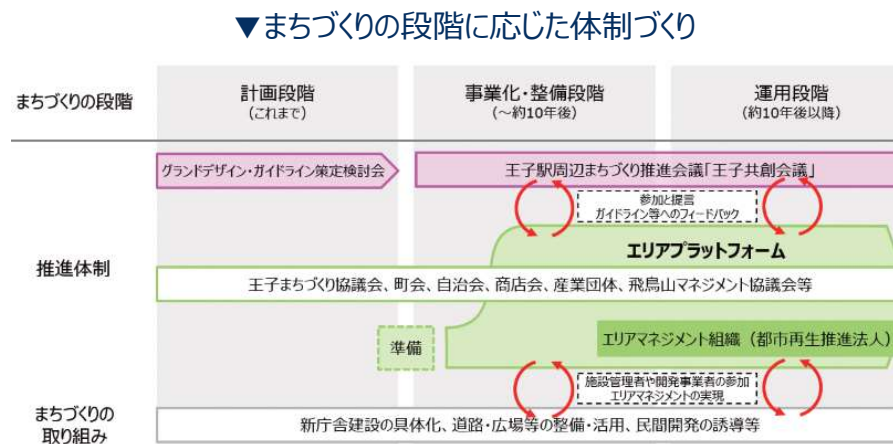
3D都市データの活用

エリアプラットフォームの設立に向けて

まちづくりの機運醸成を図りながら、エリアマネジメントへとつなげていきます

エリアマネジメントとは

- 市街地において、地権者や企業、開発事業者などの民間が主体的に行う、良好な開発の誘導並びに環境及び地域の価値を維持・増進するための取り組み
- 具体的には、まち並み景観の誘導、地域美化やイベントの開催、シティプロモーションの展開、公共施設の自主管理等



エリアマネジメントの事例

一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有まちづくり協議会）

地権者（大手企業）が主導

公・民・学の連携

柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）

まちづくり協議会から派生

ナカメエリアマネジメント（一般社団法人中目黒駅周辺地区エリアマネジメント）

行政と鉄道事業者の連携

ササハタハツまちラボ

エリアプラットフォームの設立に向けて

まずは準備会で、エリアプラットフォームのあり方から検討を始めます

エリアプラットフォームのあり方

- 地域の実情を踏まえた「座組」が重要
- 王子ならではのあり方とは
 - ・ まちづくりを牽引する大手企業等がない
 - ・ 具体的取組みを行いながら関係者を増やし、担い手を育てていくことが必要
 - ・ 先行実施地区・新庁舎、飛鳥山、その他の各取組みが連携するプラットフォーム

運営等について

- ・ 名称
- ・ 目的、方針
- ・ 構成
 - 参加の要件、正規会員と協力会員等
- ・ 経費
 - 拠出金や協賛金の有無、補助金等
- ・ 会議（総会、理事会）、事務局等

